

2014 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 1 回議事録

日 時 : 2014 年 4 月 10 日 (木) 14 時 00 分～16 時 30 分
場 所 : 東海学園大学 三好キャンパス 1 号館
出席者 : 立野・太田(名古屋芸術)、小木曾・金子(愛知)、東槿(名古屋外国語)、
広田(中部)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椋山女学園)、石田(南山)、
水谷(東海学園)、柴野(名古屋商科)、中田・坂東・山田(名古屋学院)、
欠席: 小林(愛知医科)、中村(愛知) 敬称略

議事に先立ち、中田委員長より、委員の交代と、新たに加わる委員について発表と紹介があった。名古屋外国語大学の運営委員が八鳥委員から東槿委員に交代となった。また、次期委員長校の愛知大学より、中村委員と金子委員が新たに加わることとなった。金子委員はウェブサイト担当となる。

議題

1. 2013 年度決算、2014 年度事業計画・予算案について

会計担当山田より、資料(常任幹事会提出済)に基づき 2013 年度の決算報告があった。また、中田委員長より、2014 年度事業計画および予算案について説明があった。前回運営委員会で、2014 年度予算案のうち研究会意見交換会会費を 1,000 円増額して 4,000 円とするとしたが、その後会場の目途がついたため、元の 3,000 円に戻すこととなった。

2. 2014 年度研究会について

東槿委員より資料に基づき説明があった。

①第 1 回研究会について

スケジュール、開催案内、当日アンケートの内容について検討を行った。

- ・研究会終了後のスケジュールに希望者対象の図書館見学を追加した。
- ・会場のキャパシティの都合で参加者の定員を 48 名としたいが、開催案内に定員を設けている旨明記するべきか協議した結果、今回は東海地区協議会加盟館のみに案内をする(東海地区大学図書館協議会加盟館は対象外とする)ことで参加対象を制限し、開催案内には申し込み状況により調整する場合がある旨を注記することとした。
- ・井上氏の講演について録音、テープ起こしの業者を手配する。
- ・開催案内は、昨年度までと同様、総会を待たず 4 月 18 日の常任幹事会での承認をもって、5 月 7 日発送予定とする。
- ・当日の担当を下記の通り割り振った。

受付 : 水谷、広田、木村、小木曾

記録 : 太田

カメラ : 坂東、石田

マイク : 天野、山田

録音 : 太田

PC準備 : 石田、田中、金子

アンケート回収 : 柴野、小林

講演者対応 : 中田

②第2回研究会について

- ・事例報告の募集を、第1回研究会の開催案内と一緒に送付する。
- ・開催日は、他の行事との関係から11月中旬～下旬とし、会場候補校と調整する。

3. 2014年度実務担当者研修会について

柴野委員より、資料に基づき説明があった。下記の検討事項について協議した。

- ①テーマ 「学修支援のために今できること」で決定。主旨説明文をつけることとし、柴野委員が案を作成してメールで回覧し意見を聞く。
- ②事前課題 回収したワークシートは、各ワーキンググループ担当のリーダーが参加者および講師に配布する。
- ③ワーキング紹介
記述形式を統一する。各グループで修正して委員長に提出する。
- ④その他
 - ・講師依頼を送付する必要があるため、ワーク担当講師のE-mailアドレスを委員長に連絡する。
 - ・開催案内は、研究会と同様、総会を待たず4月18日の常任幹事会での承認をもって、5月7日発送予定とする。
 - ・グループワークの際に必要な機材等を確認して、わかり次第会場校（名古屋学院大学）に連絡する。

4. 館灯について

太田委員より報告があった。すでに納品済で、配布準備に入るところである。データをウェブサイト担当者に送付する。

5. ウェブサイトについて

石田委員より、資料に基づき前回以降の実施事項と、年度更新作業および新年度の作業担当者について報告があった。また、実務担当者研修会ページについて説明があった。

協議事項として、『館灯』掲載ページの形式の提案について検討した結果、提案1を採用とした。

次回、2014年度第2回運営委員会は、2014年7月2日(水)10時から、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学にて開催する。

以上
記録者：山田